

奈良県感染症情報

平成 26 年 第 9 週(2 月 24 日～ 3 月 2 日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

■ 病原体(ウイルス)検出情報(2月分)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	19.43	(18.17)	➔	➔	➡	⬇
2	感染性胃腸炎	3.38	(3.29)	➡	➡	➡	➔
3	A群溶連菌咽頭炎	0.76	(0.97)	➡	➔	➡	⬇
4	水痘	0.50	(0.76)	➡	➔	⬇	⬇
5	咽頭結膜熱	0.35	(0.32)	➔	⬆	➔	⬇

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **⬆⬆**急増、**⬆**増加、**➡**やや増加、**➔**横ばい、**➡**やや減少、**⬇**減少

◆ 県内概況 ◆

◆ インフルエンザの注意報は継続中！

- ✓ 例年1月末から2月初めをピークとして流行し、徐々に減少するインフルエンザですが、本年は減少が鈍く、例年より高い状態で続いています。原因となるウイルスは、ピーク時には A(H1N1)pdm09 型が多数を占めていましたが、このところ B 型、AH3(香港)型も多く検出しています。A(H1N1)pdm09 型に感染しても、B 型、AH3(香港)型に、再度感染することもありますので、引き続きこまめな手洗いや咳エチケット(マスク)などの感染予防対策が必要です。
- ✓ 患者は、5歳～14歳が6割を占めており、特に小学校で学級閉鎖が多く、学年閉鎖されているところもあります。抗ウイルス薬によって早期に解熱しても感染力は残っているため、発症後(発熱の翌日を1日目として)5日を経過するまでは欠席が望ましいとされています。



◆ 病原体(ウイルス)検出情報(2月分) ◆

*ウイルス分離同定日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
アデノ 1		2			アデノウイルス感染症(1) インフルエンザ・アデノ疑い(1)*
アデノ 2		1			アデノウイルス感染症、扁桃炎(1)
インフルエンザ AH1pdm	9	17	11	1	インフルエンザ(36)、上気道炎(1) インフルエンザ・アデノ疑い(1)*
インフルエンザ AH3	1	3			インフルエンザ(4)
インフルエンザ B	5	9			インフルエンザ(14)
RS		1			下気道炎(1)
ノロ GⅡ		1			感染性胃腸炎(1)
エコー 6	1				無菌性髄膜炎(1)
エコー 11		1			扁桃炎(1)

*重複

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 9 週 2 月 24 日 ~ 2 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	11	3	3	
インフルエンザ	1049 (19.43)	284 (25.82)	336 (21.00)	130 (11.82)	252 (22.91)	7 (3.50)	40 (13.33)	
小児科定点数	35	7	10	7	7	2	2	
RSウイルス感染症	11 (0.32)		4 (0.40)	3 (0.43)	2 (0.29)		2 (1.00)	
咽頭結膜熱	12 (0.35)	1 (0.14)	4 (0.40)	2 (0.29)	5 (0.71)			
A群溶連菌咽頭炎	26 (0.76)	9 (1.29)	10 (1.00)		7 (1.00)			
感染性胃腸炎	115 (3.38)	18 (2.57)	42 (4.20)	17 (2.43)	29 (4.14)	2 (2.00)	7 (3.50)	
水痘	17 (0.50)	8 (1.14)	5 (0.50)	2 (0.29)	2 (0.29)			
手足口病								
伝染性紅斑	1 (0.03)	1 (0.14)						
突発性発しん	5 (0.15)	2 (0.29)		2 (0.29)	1 (0.14)			
百日咳								
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	1 (0.03)				1 (0.14)			
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	2 (0.22)	1 (1.0)	1 (0.3)					
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎								-
無菌性髄膜炎								-
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)						1 (1.00)	-
クラミジア肺炎								-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								-

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核 2件(奈良市1件、葛城1件)
3類感染症	
4類感染症	A型肝炎 1件(奈良市1件)
5類感染症	

❖ 今週のトピックス ❖

ワールドカップ観戦でブラジルへ渡航される方へ(黄熱のワクチン接種)
(厚生労働省検疫所)

<http://www.forth.go.jp/news/2013/12101510.html>

<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11133000-Shokuhinzenbu-KenekijogyoumuKanrishitsu/leaflet.pdf>

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	1	6	12	12	18	20	38	31	39	51	37	130	15	14	27	21	18	6	7	4	507	3834
	女	1	5	9	9	12	21	41	40	35	28	41	126	15	27	43	50	20	12	3	4	542	3973
RSウイルス感染症	男	1	2	1	2	1																7	90
	女		2	1	1																		4
咽頭結膜熱	男			4	1	1				2												8	44
	女		1		1				1				1									4	43
A群溶連菌咽頭炎	男				1	1	2	2	3		3	1	2									14	120
	女						1	2	2	2	2	2	2									12	120
感染性胃腸炎	男		3	6	10	4	5	3	2	2	2	2	2	3	16							60	842
	女		2	6	6	4	3	5	3	4	2		5	3	12							55	787
水痘	男			1	1	2	1		3	1												9	119
	女			1	4			1	2													8	108
手足口病	男																						
	女																						4
伝染性紅斑	男							1														1	5
	女																						
突発性発しん	男			3																		3	35
	女		1		1																	2	22
百日咳	男																						
	女																						
ヘルパンギーナ	男																						
	女																						1
流行性耳下腺炎	男						1															1	13
	女																						11
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男																						14
	女												1									1	15
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男		1																			1	1
	女																						
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						3
	女																						3

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 〰 過去10年平均

